

巻末	巻末資料		
	<div>学習指導要領の項目（1）、(2)</div> <div>教科書 p.192～p.203 配当時間 3 時間 配当時期 3 月上旬～3 月下旬</div>		<div>巻末の流れ</div> <div>今まで学習してきた地学基礎の学習内容の理解度や達成度を測るために、チャレンジ問題に取り組み、適宜教科書の復習を取り入れる。 教科書中の探究活動については、取り上げる際に、資料 2 以降を必要に応じて参照させる。</div>

巻末の目標 地学基礎の目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

■巻末の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

主な学習活動	時間	教科書ページ	重点	記録	評価の観点と方法	十分満足できる生徒の評価例	努力を要する生徒への指導の手だての例					
チャレンジ問題												
チャレンジ問題 ・今まで学習してきた地学基礎の学習内容の理解度や達成度を測るために、各編の内容を代表しているチャレンジ問題に取り組む。 ※編ごとのまとめ、振り返りとして活用することもできる。 ◎チャレンジ問題のうち、第3問 <table border="1"><tr><td>1</td></tr></table> 、 <table border="1"><tr><td>2</td></tr></table> 、第7問 <table border="1"><tr><td>1</td></tr></table> 、第9問 <table border="1"><tr><td>3</td></tr></table> 、第11問 <table border="1"><tr><td>4</td></tr></table> は思考・判断・表現を評価できると考えられ、その他は知識・技能を評価できると考えられる。態度については、それぞれの編に対応する問題についての取り組み状況などで判断することが可能。	1	2	1	3	4	2	192 ～ 196	知	◎	【 知技 】地球や地球を取り巻く環境について理解できている。 [行動観察・記録分析]	これまで学習してきたことを振り返り、地球や地球を取り巻く環境について理解できている。	該当する部分を復習するよう助言・指導する。
	1											
	2											
1												
3												
4												
思	◎	【 思考 】地球や地球を取り巻く環境についての問題に対して、分析して解釈するなどして解くことができる。 [行動観察・記録分析]	地球や地球を取り巻く環境についての問題に対して、分析して解釈するなどして解くことができている。	該当する部分を復習するよう助言・指導する。 ※チャレンジ問題のうち、第3問 <table border="1"><tr><td>1</td></tr></table> 、 <table border="1"><tr><td>2</td></tr></table> 、第7問 <table border="1"><tr><td>1</td></tr></table> 、第9問 <table border="1"><tr><td>3</td></tr></table> 、第11問 <table border="1"><tr><td>4</td></tr></table> は思考・判断・表現に対応する。	1	2	1	3	4			
1												
2												
1												
3												
4												
態		【 態度 】地球や地球を取り巻く環境についての問題に積極的に取り組んでいる。 [行動観察・記録分析]	地球や地球を取り巻く環境についての問題に積極的に取り組んでいる。	該当する部分を復習するよう助言・指導する。								
巻末資料												
資料2 探究活動の進め方 ・探究の進め方の流れを理解する。 資料3 グラフのかき方 ・グラフの利点、誤差について理解する。 資料3 図やグラフの読み方 ・図やグラフから必要な情報を正確に読み取る際に、着目するとよいことを示している。 ※ 資料3 については、探究活動やそれぞれの内容を学習する際に、必要に応じて活用する。 元素の周期表 ・周期表は、物質を構成する基本単位である元素を、周期律を利用して並べた表である。学習する際に、元素が扱われる場合に、必要に応じて活用する。 地球と生命の歴史表	1	197 ～ 203	知		【 知技 】探究の過程と、探究の意義や価値を理解できている。 [行動観察・記録分析]	探究の過程において、課題の把握と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できている。	提出されたレポートや発表（ポスター発表、口頭発表）から、観点に基づいて評価し、必要なことを助言・指導する。 ※評価の観点については、例えば、教科書 p.201 の評価の項目を参照のこと。 ・テーマの設定に無理がなかったか。 ・仮説の設定と、それを検証する方法が適切であったか。 ・実験結果を正確に記録し、まとめているか。 ・結果にもとづいた考察がなされているか。 ・わかりやすい発表であったか。					
			思	◎	【 思考 】日常にある自然現象に対して関心をもち、不思議だと思う気持ちから課題を見いだしている。 [行動観察・記録分析]	日常にある自然現象に対して関心をもち、不思議だと思う気持ちから課題を見だし、自分で仮説を設定し、検証計画を立案し、観察、実験を実施、結果の処理をし、考察・推論・発表ができている。	提出されたレポートや発表（ポスター発表、口頭発表）から、観点に基づいて評価し、必要なことを助言・指導する。					

・主な地球上のでできごとと、生物の出現と絶滅について示している。必要に応じて活用する。 ※ 4 編での活用も考えられる。			態		【態度】探究活動に主体的・協働的に取り組もうとするとともに、レポートや発表に粘り強く取り組んでいる。 [行動観察・記録分析]	探究活動に主体的・協働的に取り組んでいるとともに、ほかの生徒と協力してレポートや発表に粘り強く取り組むことができている。	提出されたレポートや発表（ポスター発表、口頭発表）から、観点にもとづいて評価し、必要なことを助言・指導する。
---	--	--	---	--	---	--	--

重点……重点的に生徒の学習状況を確認する観点 記録……全員の生徒の学習状況を記録に残す観点

★評価の仕方：ペーパーテスト、レポート、発言による自己評価、相互評価による。

※「評価の観点と方法」とそれに対応する「十分満足できる生徒の評価例」及び「努力を要する生徒への指導の手だての例」を知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度ごとに記載をしているが、授業者が独自に、授業時数や授業での取り扱い、生徒の実態等にあわせて他の評価規準を含めてカスタマイズして評価するなどすることが望ましい。